

平成23年度 特定看護師（仮称）業務試行事業 実施状況報告（11月）（追加報告）

インシデント等の報告状況等について

1. 対象施設

平成23年10月末までに特定看護師（仮称）業務試行事業実施施設として指定された施設 22 施設。

2. 報告内容

以下の①、②のうち、どちらかの提出を求めた。

- ① 平成23年9月から11月までの施設全体のヒヤリハット・インシデント・アクシデント報告数。
 ② 施設における医療安全管理体制に係る組織（医療安全管理委員会等）の最近1回の議事録
 （施設全体のヒヤリハット・インシデント・アクシデントの報告件数が記載されているもの）。

< 提出状況一覧 >

	施設名	①インシデント等の報告数	②議事録
1	医療法人小寺会 佐伯中央病院	○	
2	医療法人小寺会 介護老人保健施設鶴見の太陽	○	
3	飯塚病院	○	○
4	大阪厚生年金病院		○
5	医療法人誠医会 川崎大師訪問看護ステーション		○
6	杏林大学医学部付属病院	○	○
7	大阪府立中河内救命救急センター		○
8	医療法人恵愛会 中村病院	○	
9	社会福祉法人恩賜財団 福井県済生会病院	○	
10	千葉県救急医療センター	○	○
11	藤沢市民病院	○	
12	岐阜大学医学部附属病院	○	
13	財団法人田附興風会医学研究所 北野病院	○	○
14	日本医科大学 武蔵小杉病院		○
15	東海大学医学部付属病院	○	
16	埼玉医科大学病院	○	
17	筑波メディカルセンター	○	
18	帝京大学医学部付属病院		○
19	JA埼玉県厚生農業協同組合連合会 熊谷総合病院	○	○
20	社会福祉法人 三井記念病院	○	○
21	大分県厚生連 鶴見病院	○	
22	大分県厚生連介護保健施設 シエモア鶴見	○	

3. 報告概要

①について

○リスクレベルの分類基準については施設によって様々であったが、患者に実施する前に気づいたヒヤリハットも含めた基準が設けられ報告されていた。

②について

○リスクレベルが高い事例や施設が警鐘事例と判断した事例については、会議において詳細に経緯の報告がされていた。

○会議において報告された事例については、関係者によって再発防止に向けた対策等の検討が行われていた。